

柗津地区の「方言カルタ」製作及び活用で地域活性化事業

取組に至る背景・事業の目的

- 柗津地区の文化である方言や言い伝えを保存・伝承し、地域に役立てるために、平成14年と平成16年に方言集等の冊子を作成したが、平成17年の利用状況調査で、利用率が低いことが判明。活用しやすい「方言カルタ」を作成することに至った。
- 小学生、高齢者と協働で「方言カルタ」づくりに取組み、世代間の交流を深める。
- 「方言カルタ大会」の実施、「方言・言い伝え」を語る場を設けることにより、言語文化への正しい理解と愛着を深め、方言や言い伝えの保存・伝承を図る。

事業内容

- 方言カルタ 800組の作成（写真上・中）
- 各地区でのカルタ大会の実施（写真下）
- カルタを公共機関、小学校、保育園等、600組を寄贈
- 地域へのカルタの貸出

事業効果

- 「方言カルタ」づくりを通し、家族間のふれあい、小学生から高齢者までの地域住民の交流が図られた。
- 方言カルタ大会の実施により、世代間を越えたコミュニケーション効果が生まれた。
- 「方言カルタ」のTV・新聞等による発信から、地元を出た方からの問合せなど、故郷への関心の向上につながった。
- 「方言カルタ」による、歴史文化の保存・伝承が図られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 小学生が方言を選定、内容等がカルタの中に収まるよう工夫し、カルタの箱づくり、札詰めを小学生と高齢者等で行った。
- 平成23年度小学校入学児童へ「方言カルタ」を記念に配布した。
- 公民館での「方言カルタ」貸出を行っていく。
- 「方言カルタ」を題材に、小学校、各施設等での催し実施による、ふるさとの方言・言い伝えの伝承に努める。
- 各地区活性化委員を通じ、今回の事業のような、伝統文化継承活動を今後も実施していく。



【 カルタの箱作り 】



【 カルタ完成品 】



【 カルタ大会 】

【選定のポイント】

方言カルタづくりによる言語文化への理解と愛着、伝承と保存、また、世代間の交流にも寄与した。カルタ大会を通して、地域の交流を推進した。

方言カルタは、今後も利用され、方言の伝承に役立つことが期待される。

団体名 柗津地区活性化研究委員会（東御市）
連絡先 東御市柗津 1280-1

事業タイプ ソフト事業
事業費 702,000円
支援金額 688,000円